



第3版 2021.7

大学という枠を飛び超え、地域から学ぶ取り組み

【副専攻「吉備の杜」『岡山創生学課程』】

『岡山創生学課程』は、社会に対する視野を広げ、柔軟な発想力や応用力を養うこととしたプログラムです。地域理解から始まり、最終的には地域の抱える課題を認識し、コミュニケーションと協働を通じてその解決プロセスを考えることに取り組みます。フィールドワークを通した実践的な学習が多いことが特徴です。

実践的な
活動が多い！



副専攻「吉備の杜」ってなに？

主専攻の専門教育以外の分野の知識や考え方を学び、専門教育を補完するだけでなく、大学での学びの幅を広げる制度で、単位取得が可能です。

こんな人にオススメ！

- 専門分野以外の知識・経験の幅を広げたい
- 人と関わりたい
- キャリアアップを目指したい
- 地域で活躍したい

なぜ?今、『岡山創生学課程』が大事なの!?



社会で通用する力を身につけよう

岡山県立大学では、多くの学生が専門分野で身を立てる意思と能力を培い、社会へ巣立ち、活躍しています。社会で求められる専門的能力は日々変化しており、絶えずアップデートしてゆく必要があります。一方で、社会人として職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な能力(社会人基礎力)は汎用的であり、大学生のうちから身に付け、高めておくことが求められています。答えのない課題に積極果敢に取り組み、解決のためのシナリオを描き、多くの人を巻き込みながら協働する力は、どのライフステージにおいても前に進む推進力を生み出すでしょう。副専攻「吉備の杜」『岡山創生学課程』は、これらの能力を身につけられる科目を揃え、専門の学部を超えて地域社会に目を向けて行動し、自らの専門性に統合していく学びの場です。



社会連携教育推進室
室長
高戸 仁郎

企業は
こんな人材を
求めている!

異質なものや異世代と向き合う力が必要

現代は皆さんにとっても、我々企業にとっても、先が見えない時代ですね。しかしそういった時代だからこそ、何が起きてでも自分で奮起し、乗り越えられる人を企業は求めています。仕事をしていると、自分の身の回りのことしか目に入らなくなっていますが、社会というものは繋がっています。自分の生活周辺、家庭や地域のことなども見返していくべきだと感じています。また、AIが人の仕事にとって代わる時代においては、対人的なコミュニケーション、つまり人にしかできないこと、人を感じ、思いやる心が大事です。異質なものや異世代と、どのようにコミュニケーションを取るかということが、今後、重要なになってくると思います。



岡山トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長
梶谷 俊介

『岡山創生学課程』の3つの特長



枠を超えた学び！

学部学科の枠を超えて学ぶことができる
ので、考え方の幅が広がります！



地域が学びをサポート！

他大学や自治体、NPO等と連携。地域の
人たちと積極的に関われます！



ジェネリックスキルがUP！

様々な経験を通じて、社会人として必
要なスキルが自然と身につきます！



『岡山創生学課程』学びのSTEP



「地域創生推進士」って？

『岡山創生学課程』で定められた所定の単位を修得するとともに、地域での主体的な活動を行い、地域創造戦略センターが認定する公開イベント等において、その実績についてプレゼンテーションを行うことで所定の要件を満たした学生に「地域創生推進士」の称号を授与しています。

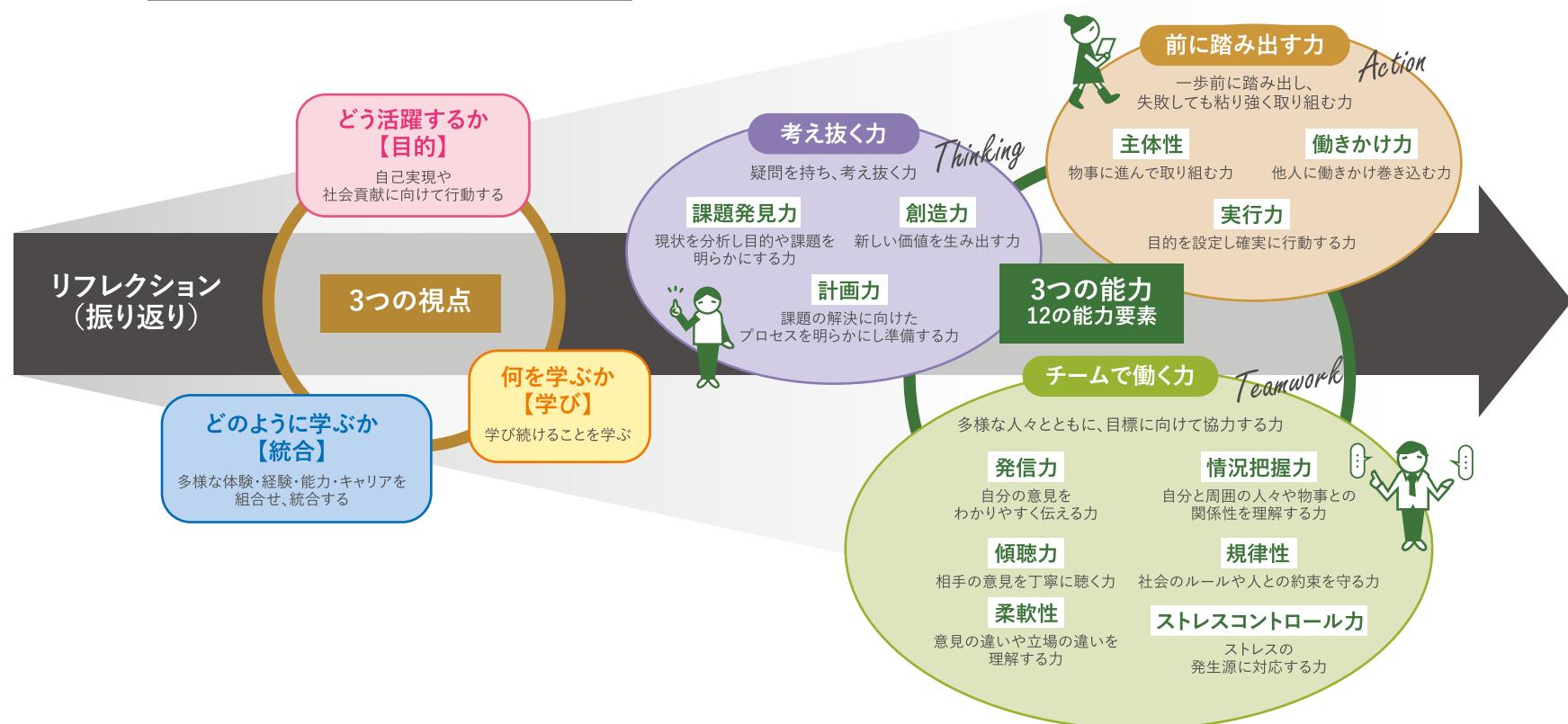
☑ 地域貢献に関する理論と実践を身につけられます。

☑ 社会に出て活躍できる社会人基礎力を備えられます。

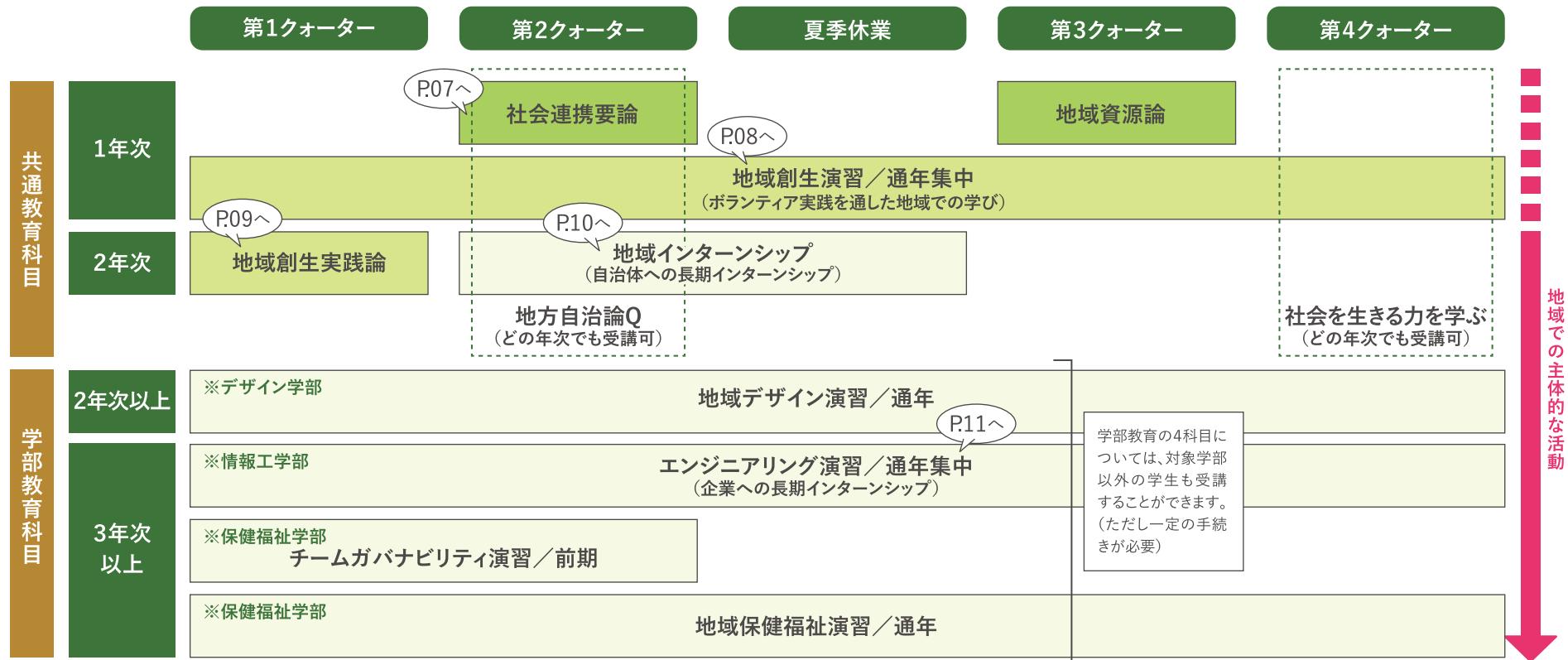
『岡山創生学課程』で培われる“社会人基礎力”って？

社会や環境の変化に柔軟に対応できる力！

“社会人基礎力”とは、「職場や地域社会の中で、多様な人々とともに仕事をする上で必要な基礎的な能力」として 経済産業省が2006年に提唱したもので、「前に踏み出す力」、「考え方力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)から構成されています。また2017年度、「人生100年時代の社会人基礎力」と新たに定義され、社会人基礎力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置づけられました。



履修科目の全体イメージ



※2021年6月時点での情報です。



■は必修科目
■は地域創生推進士の認定要件

社会連携要論って??

社会とつながる取り組みを学ぶ

現代の社会に定着しつつある社会連携活動について、実際に活動を精力的に行っているゲストスピーカーによる講義を通して、“社会とつながることの意味は何か”を考えます。

この講義は『岡山創生学課程』の基礎科目です。岡山の企業やNPO、行政、地域のボランティア団体などで社会の活動を実践されている方から取り組みを伺い、その上で、地域の諸問題を解決するために、学生自ら考え、発表するアクティブラーニング式の講義です。SDGsに向け取り組んでいる様々な団体の話を聞くことができます。

<キーワード>

SDGs、地方創生、CSR(企業の社会的責任)、NPO、ボランティア



障害のある人や高齢者、子どもなどとアーティストとのコラボレーション活動をしているNPOハートアートリンクの田野智子さんの講演。



講義の最後に話し合った内容を発表したり、講師への質疑応答をします。

※写真は令和元年度に行われた授業の様子です。
令和2年度はオンデマンドで行われました。

地域創生推進士になるなら必要

地域創生演習って??

地域に出て、社会の仕組みを学ぶ実践型授業

社会・地域での自分の役割を
体験から学びます!

地域で活動するNPOやボランティア団体、地域の団体と共にボランティア活動を行うことで
主体性を高め、社会人基礎力を養っていきます。



地域における活動を経て、地域創生推進士の資格を目指したい

キッズイベントに参加して、企業や地域で子どもたちを育てようという意識を感じ、大学生の自分たちでも少しあは力になれるということを実感しました。また、このグループのリーダーとして、多くの人をまとめる大変さを学ぶことができました。

情報工学部 情報通信工学科
森崎 翔大さん



地域創生推進士になるなら必要

地域創生実践論って??

グループワークを通して協働へのアプローチを学ぶ！

地域の各種団体から提示された課題について、グループワークを通して考えます。

課題を明らかにし、団体からのアドバイスを踏まえて解決策を練り直し、最終報告会で発表します。



地域で活動する各種団体の活動紹介と、グループワークの課題を説明していただきます。

地域のために行われている様々な活動を団体側の視点で考えます。

アイディアが飛び交う中で、お互いの考え方の違いに気づくことも、学びのヒントになります。



「百聞は一見に如かず」ということで、地域の現状を知るために、フィールドワークに出かけることもあります。



地域課題解決に向けて“地域”から学ぶもの

地域でどのような課題があるのか、その課題に対してどのような取り組みに関わっているのか、今まで以上に“自分に何ができるか”を考えるようになりました。普段、自分たちが何となく生活している“地域”の中で得られるものはたくさんあると思います。

保健福祉学科 子ども学専攻
中山 奈麻美さん

1年目に履修した『岡山創生学課程』の科目でついた力をさらに深く掘り下げ学んでいきます。アクティブラーニングを取り入れ、実践的な内容を取り入れた「地域創生演習」(P.08参照)にリンクした内容となっています。ここでは特に、社会人基礎力の主体性、課題発見力、傾聴力を身につけることを目指します。

地域インターンシップって??

県内自治体等で地域の持続的発展を考える!

2週間の長期インターンシップで実際の行政業務等に触れ、

業務内容や地域課題に対する取り組みなどについて理解を深めます。



仕事はいかに効率よく行うか。

インターンシップを通じて、どのように相手に伝えることが分かりやすいか、作業後、次に自分には何ができるかを考えることを改めて学びました。仕事はいかに効率よく行うかが大切になってくることも学ぶことができ、将来、仕事に就くときに活かしていきたいです。

情報工学部 人間情報工学科

地域の新たな魅力を発見。

備前市の里海・里山ブランド推進協議会のFacebookの更新を任せられました。実際に市内を視察し、多くの人に閲覧されるように投稿する内容を考えながら、素材の撮影を行うことで、地域の新たな魅力を発見しました。また、仕事を任されることでやりがいと責任を感じました。

情報工学部 人間情報工学科

岡山県



おかやまWi-Fiの広報ポスターの制作

備前市



地域おこし協力隊と農業体験

働く中でその土地をよく知ること。

市政情報課では、各地の取材を行い広報誌やホームページ等に使用する資料を作成しました。働く中でその土地をよく知ることが重要だということを学び、被災現場では、そこでどんなことが起ったのかをより詳細に感じ取ることができました。今後自分に必要なスキルや心構え、考え方を養っていきたいと思いました。

デザイン部 デザイン工学科

総社市



総社市における政策提言会

「地域インターンシップ」報告会



「地域インターンシップ」を終了した学生による学内報告会を開催しました。報告会には、受入先自治体の担当者の方も来学され、履修学生はそれぞれ、活動内容、活動から学んだものを発表し、政策提言を行いました。

[実習受入先実績] 岡山県／岡山市／総社市／笠岡市／備前市／赤磐市

エンジニアリング演習って??

知識・技術の応用力、進路選択への心構え等を育む！

自分で考え行動することが求められる4週間の長期の企業インターンシップを通して
自身の適性を知るとともに、自分の可能性を広げます。

COMMENT

知識、経験値としてプラスになった！

実感したのは、シミュレーションの重要さです。実測値の結果と比較し、何のパラメータが結果に影響しているか考察することが大切だと感じました。レーダー開発は全く知識のない分野だったため、日々吸収するが多く、自分の知識、経験値としてプラスになりました。

情報工学部 情報通信工学科

インターンシップに行く前に
社会人としての
マナーについて学びます。



大学で学んだことが
どのように仕事に活かされるのか
実感することができました。



甘い考え方を正す貴重な体験！

普段は友人やアルバイト先等でしかコミュニケーションをとる機会がありませんでした。インターン先で社会人の方と接することでマナーや考え方を知り、とても刺激になりました。学生とは物事に対する考え方方が違い、甘い考え方には喝を入れられた気がして、貴重な体験だと思いました。

情報工学部 情報システム工学科

就職活動の基準にしたい

低級言語ほどハードの事を考慮して作らなければならぬことやコストや予算等も考え、仕事をすることの難しさを社員の方に聞くことができ良かったです。複数の会社を見て比較したわけではないですが、とても好印象だったので、今後の就職活動の基準にしたいと思いました。

情報工学部 情報システム工学科

困難に直面することもありましたが
社員の方々に教えていただきながら
解決することができました。



「エンジニアリング演習」報告会

「エンジニアリング演習」を終了した学生による学内報告会を開催しました。報告会には、受入先企業の担当者の方も来学され、履修学生はそれぞれパワーポイントによるプレゼンを行いました。また、進路設計にどのように役立ったか等、質疑応答も行われました。



【実習受入先実績】※以上50音順

(株)英田エンジニアリング／(有)アクシス／(株)アステア／
(株)イタミアート／井原精機(株)／内山工業(株)／オーエム機器(株)／オーエム産業(株)／オージー技研(株)／岡山ネットワーク(株)／カイタック(株)／興南設計(株)／三乗工業(株)／
山陽電研(株)／(株)システムズナカシマ／シバセ工業(株)／
シャープタカヤ電子工業(株)／セリオ(株)／タカヤ(株)／(株)
トンボ／日進ゴム(株)／ヒルタ工業(株)／(株)ベネッセインフォ
シェル／松芝エンジニアリング(株)／ユアサシステム機器(株)

CASE 1

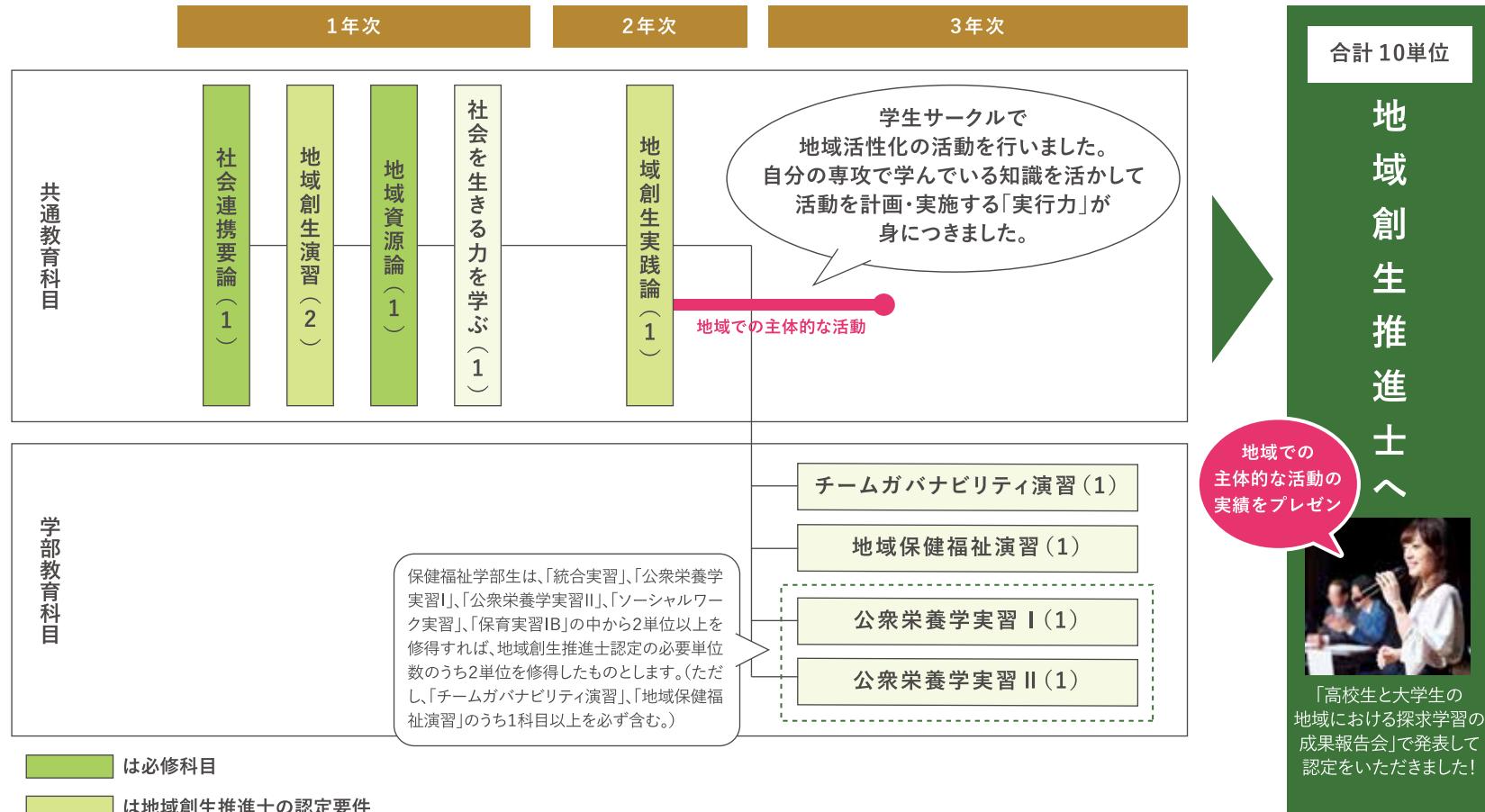
履修モデル

“管理栄養士”になった保健福祉学部のA村さんの場合



保健福祉学部
栄養学科卒業
A村さん

2年次までに共通教育科目で必要な6単位を取得して
3年次に主専攻の実習を履修して必要な4単位を満たしました!

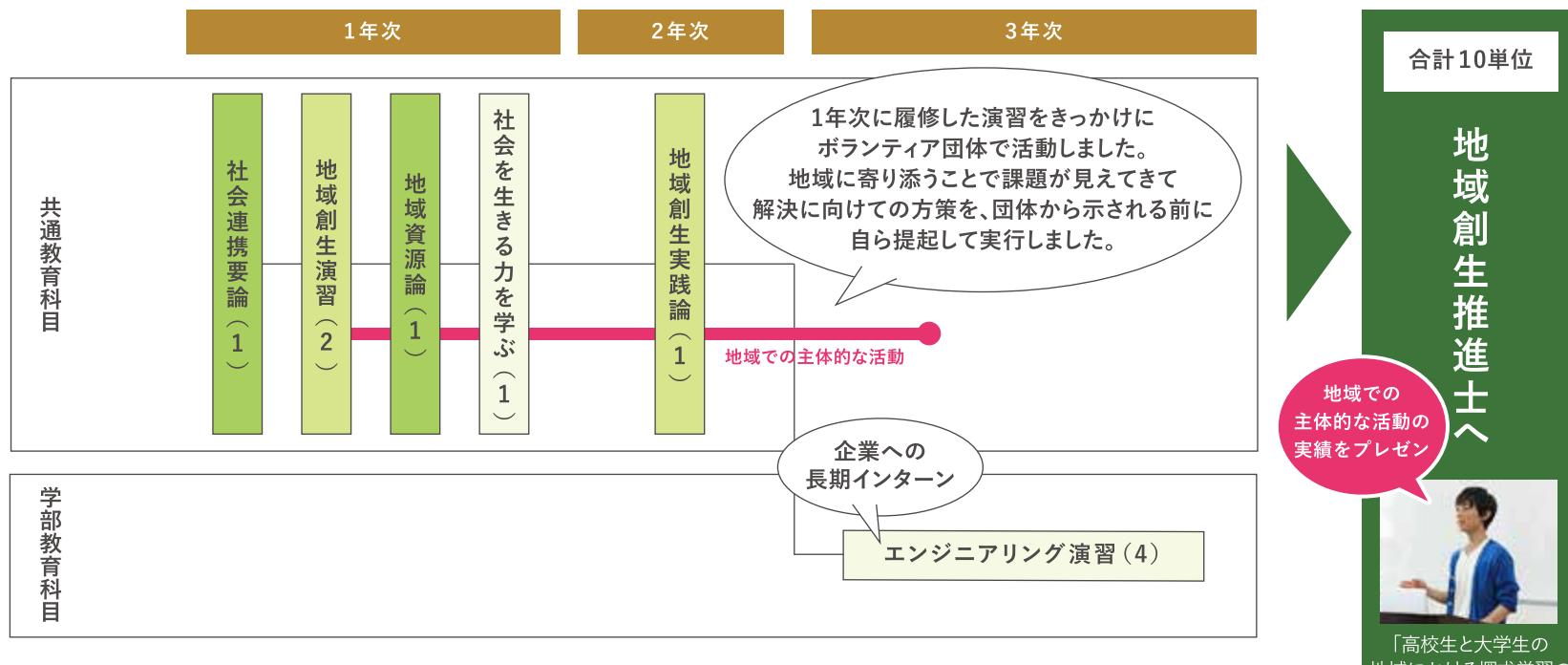


履修モデル

“SE”になった情報工学部のB田さんの場合



企業インターンシップでは学校の実験では得られない経験ができ、決して容易ではない課題の連続でしたが、今の仕事に役立っています。

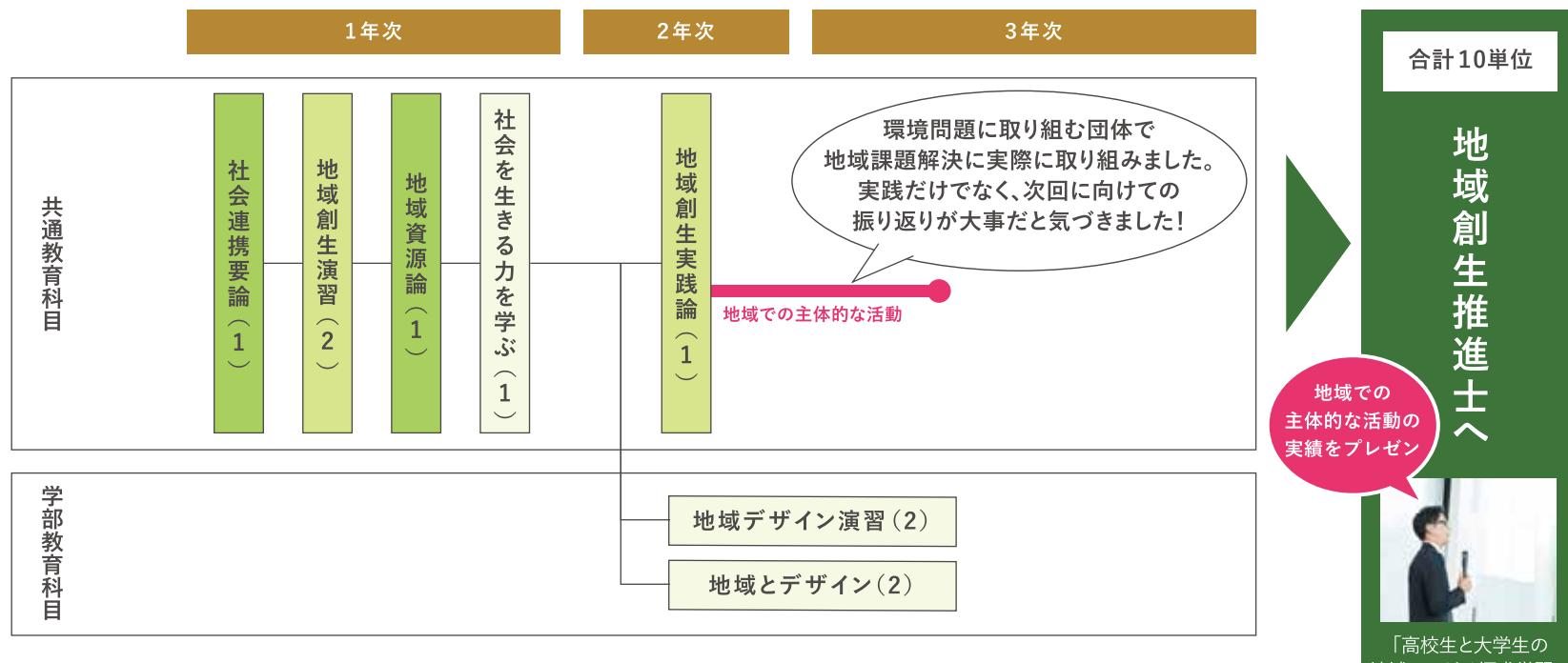


履修モデル

“プロダクトデザイナー”になったデザイン学部のC戸さんの場合



1年に座学で学んだり、実際に体験した様々なボランティアの事例が、
地域での主体的な活動をする上での発想に活かせました！

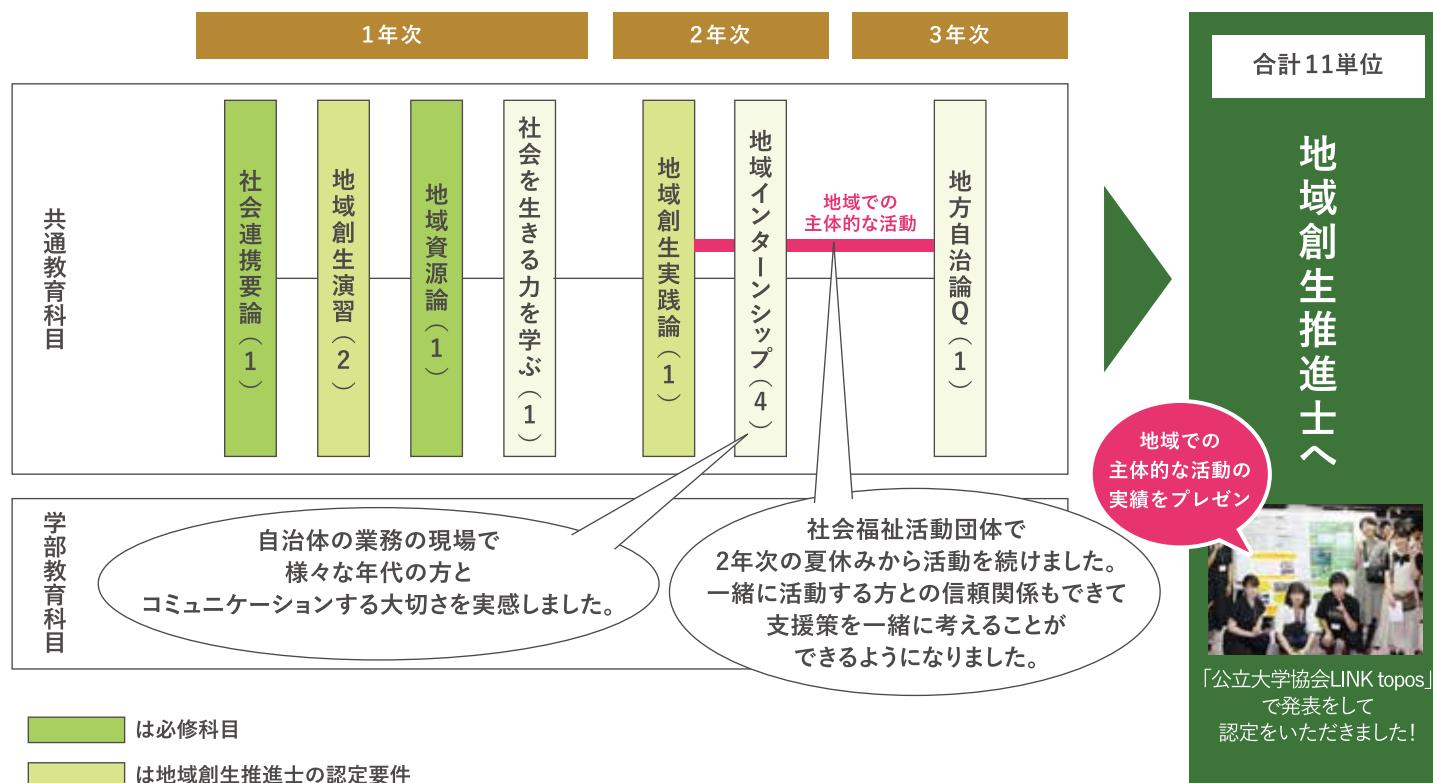


履修モデル

“公務員”になった情報工学部のD山さんの場合



公務員志望だったので、迷わず地域インターンシップを履修しました。
中で仕事をしないと見えてこない様々なことを体験でき、就活に役立ちました。



地域創生推進士になった卒業生の今

～その① 市役所の内外で活躍する公務員～

どうしたらうまくいくのか、課題を自ら考え、行動した実践的な学びは、
社会に出た時に、どの仕事においても役立ちます。



難波 裕昌さん 総社市役所 勤務
情報工学部人間情報工学科 2020年卒業

“自ら考え行動する” 社会では主体的な行動が求められる！

『岡山創生学課程』を受講して良かったのは、自分で考える習慣ができたことです。社会人になって一番に感じたのは、全てにおいて“主体的”に動かないといけないということです。初めは分からぬことだらけで、人にすぐに聞きたくなるんですが、そこはいったん自分で考えたうえで相談するように心がけています。その方が上司の負担が減りますし、自分も早く仕事を覚えられると思います。

自分が社会の役に立っているという実感

授業の一環で行ったボランティア活動は、自分が何らかの形で社会の役に立っているということが実感ができる良かったです。就職活動の面接でも、その経験を問われることが多いので、実際に参加して、経験したことを話せるようになっておくと良いと思います。あとは履歴書に書くと、“地域創生推進士”って何!?という質問を必ずされるので、これも答えられるようになっておいた方が良いですよ。

社会人マナーを学んだインターンシップ

今の仕事は窓口や電話でお客様の応対をしたり、外へ調査に出かけることもあります。職員は、庁舎で仕事をしているイメージが強かったのですが、地域インターンシップに参加した際に、イベントの運営で外で活動する体験ができたことで、もともと公務員志望だったのですが、仕事の幅広さに改めて興味を持ち、就職先の決め手になりました。また、その時に学んだ報告・連絡・相談といった社会人マナーが、今、役立っています。今後は、今の部署での専門的な知識を早く身につけ、後輩の手本になれるように、日々、勉強していきたいと思います。



地域創生推進士になった卒業生の今

～その② 新しいプログラムを開発する技術者～

どうしたらうまくいくのか、課題を自ら考え、行動した実践的な学びは、
社会に出た時に、どの仕事においても役立ちます。



守屋 学人さん ユアシステム機器株式会社(岡山市) 勤務
情報工学部情報システム工学科 2020年卒業

“基本はディスカッション” コミュニケーション力が身につく学習！

『岡山創生学課程』ではディスカッションがかなり多かったのが印象に残っています。発表の機会もたくさんあって、その準備のためにみんなで意見を出し合って進めるのですが、意見がまとまらず、うまくいかないこともしばしば…。ただし座学の多い主専攻の学習と比べると、そんな状況を何とか乗り越えて、みんなで1つのことを成し遂げるという実感がすごくありましたし、コミュニケーション力が身についたと思います。

今まで自分の知らなかつた世界を体験

ボランティア活動やインターンシップなど、大学の外で学ぶ活動は、自分が今まで知らなかつた世界を体験することができるので、ぜひ積極的に履修することをおすすめします。私はエンジニアリング演習でこの会社を訪れ、今と同じ部署に配属されたのですが、その時初めて、この会社が耐久試験機の開発や製造に関して、日本でも有数の会社であることを知り、ここで働くことへの興味が湧きました。後になって、演習で制作したものが製品に活かされていると聞き、自分の技術が少しでも会社の役に立てたことが何よりうれしかったです。

うまくいかなくとも乗り越えられる力

プログラムを組む仕事は、計画通りに進めても、うまく動作しないことがあります。その時には、何が原因なのかを探り、1つ1つ修正して進めます。目的のプログラムがやっと完成した時には、やりがいや達成感を感じます。これは、『岡山創生学課程』で経験したプロセスに似ていて、うまくいかなくとも、いろいろな方法を考え、試していくことをしっかりと学んだので、その力を活かして、これからも成長していきたいです。



『岡山創生学課程』Q&A

副専攻「吉備の杜」
『岡山創生学課程』についての疑問にお答えします！

Q 『岡山創生学課程』を受講するメリットはありますか？

A 主専攻では学びにくい学外での活動をすることにより、コミュニケーション力を求められたり、地域の現状を知ることで、視野の広がりを感じることができます。今まで知らなかつた世界を経験することは、今後社会人として職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくうえで役立ちます。

Q どの学科でも『岡山創生学課程』を受講できますか？

A どの学部学科でも受講できます。入学した学科の枠を超えて、他の学科の学生との交流があるので、考え方の違いに気づいたり、お互いの得意分野を活かした活動ができるなど、様々な発見があります。

Q 主専攻の実習と副専攻の演習の時期が重なった場合はどうしたら良いですか？

A まずは担当の先生に相談してください。基本的には主専攻の実習を優先したうえで、スケジュールの合う副専攻の演習があれば参加することができます。

Q 副専攻でも受講したら単位は取得できますか？
「地域創生推進士」を目指していないくとも『岡山創生学課程』の科目は履修できますか？

A はい。履修登録をし、所定の要件を満たせば単位認定され、各学部の卒業要件単位に共通教育科目として算入されます。「地域創生推進士」を目指していないくとも、興味のある科目だけを受講することもできます。

『岡山創生学課程』Q&A

副専攻「吉備の杜」
『岡山創生学課程』についての疑問にお答えします！

Q 自分で探してきたボランティア活動でも単位は取得できますか？

A 必要日数参加し、活動報告を出せば、単位として認められる科目もありますので、気になる方は下記相談・連絡先までご相談ください。

Q 「地域創生推進士」の称号はどうすれば取得できますか？

A 該当する科目を必要単位取得して、地域での主体的な活動を行い、地域創造戦略センターが認定する公開イベント等で、その実績についてプレゼンテーションを行うことで、所定の要件を満たした学生に「地域創生推進士」の称号を授与しています。

Q 「地域創生推進士」の称号は就職活動で役に立ちますか？

A 平成30年度に創設された新しい称号なので、面接時に話題になることが多いようです。特に地域活性化に取り組んでいる企業・自治体は、若者の感性や行動力を求めているので、ボランティアや地域貢献活動を経験した「地域創生推進士」の称号は、就職活動の強いアピールポイントになっています。

副専攻「吉備の杜」
『岡山創生学課程』に関する相談・連絡先
E-mail coc_support@oka-pu.ac.jp (黒川・坂本)





先行きの見えない世の中において
たくましく乗り越えていける人を
社会は求めています。副専攻「吉備の杜」
『岡山創生学課程』を通じて
今の時代を生き抜く力を学びませんか？



履修に関する相談は、
下記相談窓口で随時受付けています。
お気軽に連絡ください。

相談スペースと連絡先

サービスラーニング室 学部共通棟(北)2F

E-mail coc_support@oka-pu.ac.jp (黒川・坂本)

